「神の喜ばれる教会」ピリピ４：１９　　１８・４・２２

Ⅰ　必要をすべて満たして下さる神に祈り求め信頼する教会。

１．今年は教会の１８周年ですが、ここまで、神は、教会のすべての必要を満たして下さいました。

「私の神は、キリスト・イエスの栄光のうちにあるご自分の豊さにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます」　ピリピ４：１９。

２．その証し＝一つ一つ。

私は、牧会４０年を通して、ピリピ４：１９の真実、神が今も生きて働かれ必要を満たして下さる事実を体験してきました！神は素晴らしいお方です！

Ⅱ　神の先行する恵み（私達の罪の為の主イエス・キリストの十字架と復活の恵み、罪の赦し、永遠の命、父なる神の大きな愛、御聖霊の親しい交わり＝慰め主、励まし主）に感謝して、喜んで奉げる教会。

主の溢れる恵みに感謝しての１０分の１献金（１０分１０はすべて神からの物で、その恵みを忘れない為の１０分１献金）、月定献金、礼拝献金、感謝献金（クリスマス、イースター、洗礼、結婚他）、指定献金。

「一人ひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は、喜んで与える人を愛してくださるのです」　Ⅱコリント９：７。

「このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。すべてはあなたから出たものであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません」

Ⅰ歴代２９：１４

Ⅲ　誰かを支配したり、支配されたりしない教会。

ある強い人が、教会を支配するのは、神の御心ではない。

教会の真の健全な支配者は、教会のかしらである主ご自身。

「むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです」

エペソ４：１５。

愛をもって真実を語り合い、互いに聞き合い、話し合いの真ん中におられる教会の頭である主の御心を祈り求める教会。

「主のみこころが何であるかを悟りなさい」エペソ５：１７。

Ⅳ　まず神の愛を受けて、互いに愛し合う教会。

互いに比べず、それぞれの違いを受け入れ合う教会。

夫婦の違い、親子の違い、教会員の違い、教職者の違い、教職者夫人の違いを認め合い、受け入れ合う教会。

「神の栄光のために、キリストがあなたがたを受け入れてくだったように、あなたがたも互いに受け入れ合いなさい」　ローマ１５：７。

「何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい」　ピリピ２：３。

互いに、欠点ではなく、人のすぐれたところ（その人に与えられた神の賜物）を見つけ、尊敬し合うことができますように。

「兄弟愛をもって互いに愛し合い、互いに相手をすぐれた者として尊敬し合いなさい」　ローマ１２：１０。

Ⅴ　互いに主の恵みと祈りの課題を分かち合い祈り合う教会。

「彼らはいつも、使徒たちの教え（主から教えられた御言葉）を守り、交わり（原語：主の恵み、互いの課題

の共有、分かち合い）を持ち、パンを裂き、祈りをしていた」　使徒２：４２。
当教会は、祈って下さいと依頼すると、皆さんが、よく祈って下さる教会である事を感謝したい。

Ⅵ　自分のこだわり（食器のしまい方？集会の食事を何にするか？掃除のやり方、順番？会堂の壁の色は？）を人に強制しない教会。
人に迷惑をかけない「こだわり」は、悪いものではない。
しかし、自分の好みによるこだわりを、人に強制するようになると教会の一致を保つのは難しい。
ある教会では、ある人のこだわり（他の人の意見に耳を傾けない、自分の意見を曲げない、話し合いで決めて行く事が出来ない）が強く、主にある一致を保てない場合が起こる。
聖書の明確な教え→「それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい」　ローマ１４：５。
自分の考えを持って良い。しかし、自分の考えを他の人に押し付けてはいけない。
「謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い（耐え忍び）、平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい」　エペソ４：２，３。

Ⅶ　意見を言う事と人格を攻撃する事の違いを自覚する教会。
「さばいてはいけません。自分がさばかれないためです」マタイ７：１。
意見を愛を持って言う事はさばくことではない。
但し、その言葉の中に相手を責める、人格を傷つける要素があるなら、それはさばくことになる。
「もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人（愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の人）であるあなたがたは、柔和な心（自分も欠点があり、神に赦され続けている恵みを忘れない謙遜な心。人格と過ちを区別し、人格を愛し、過ちを愛をもって正す）でその人を正してあげなさい」　ガラテヤ６：１。

Ⅷ　教会の必要が満たされている時、心から神に感謝し、必要が満たされていない時、失望するのではなく、すべての満たし主に信頼し祈る教会。
不思議な恵みだが、心から祈る時、心から奉げたい心を与えて下さる！
「いつでも祈るべきで、失望してはならない（いけない）」　ルカ１８：１。